

介護保険 ミニ知識②

介護保険料について



介護保険の運営費

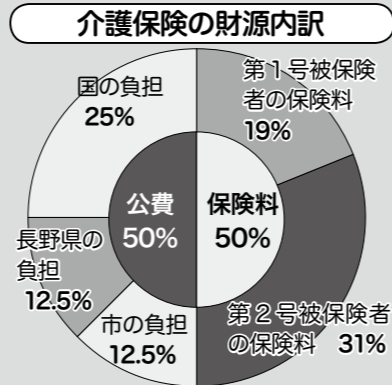
皆様からいただいた介護保険料は介護給付費に使われています。その内訳は円グラフのとおりです。介護保険事業の総給付費のうち、19%が第1号被保険者(65歳以上)の方が納めていただく介護保険料で賄うこととされています。当市の平成19年度介護給付費支払い実績(基本は食事代を除いた介護にかかった費用の90%が給付費で、10%が自己負担)は、19億4000万円を超えている状況です。

介護保険料の徴収方法

- 特別徴収…基本は受給されている年金からあらかじめ天引きし、社会保険庁等からまとめて市に納付されます。(一部特別徴収とならない年金もあります)
- 普通徴収…市から送付した納入通知書により直接保険料を納付、または口座振替で納付いただく方法です。普通徴収は、受給されている年金額が年間18万円未満の方、年度の途中で65歳になられた方や転入された方、諸事情によりしばらくの間特別徴収から外れた方が対象者です。

仮徴収・暫定徴収と本徴収

介護保険料は前年の所得に基づいて、その年度の世帯を含めた市民税の課税状況で決定します。前年の所得決定は6月です。そのため特別徴収は4・6・8月を仮徴収とし、普通徴収は4～7月までを暫定徴収として、前年度の課税状況を基に仮に納めていただきます。前年の所得が決定した後は、特別徴収は10・12・翌年2月を、普通徴収は8月～翌年3月までを本徴収として、仮徴収または暫定徴収で納めていただいた金額を差し引いて等分しますので、所得段階が同じ方は、期別ごとの金額が違いますが、保険料年額は同額になります。



保険料の未納

保険料の未納があると、いざ介護サービスを受ける際に介護給付が制限されます。未納の期間に応じて介護サービス費を一時全額負担していただくたり、個人負担が1割から3割に引き上げられます。保険料を納めないことで後々ご自身やご家族の負担が増えることとなります。保険料はきちんと納めましょう。

大丈夫ですか?今の暮らし ～一人ひとりの行動が暮らしと地球を守る～ 第14回消費生活展

「大丈夫ですか?今の暮らし～一人ひとりの行動が暮らしと地球を守る～」をテーマに、ごみの分別や地球温暖化についての展示、ダンボールを使った生ごみ処理、廃油石鹸作りの実演、ふるさとの味の試食やリサイクルマーケットなど各団体コーナーにおいてさまざまなイベントが用意されています。ご近所お誘い合わせのうえ、ぜひお出かけください。



- 開催日 10月5日(日)
- 時間 午前10時～午後4時
- 場所 飯山市公民館2階 講堂
- お問い合わせ
市役所市民環境課生活環境係
☎62-3111 内線192

「信濃川水系河川整備計画」に反映
千曲川などの整備に関する意見を募集します

国土交通省千曲川河川事務所では、これから概ね30年間で行う千曲川・犀川の整備内容を定める「信濃川水系河川整備計画」の策定作業を行っています。現在、住民の皆さんの声を「信濃川水系河川整備計画」に反映するために、ホームページを開発し意見を募集しています。今後は住民の皆さんの意見とあわせて、学識者、関係する県・市町村の意見も聞き策定作業に

お問い合わせ

詳しくはホームページをご覧ください。千曲川河川事務所までお問い合わせください。
●ホームページ
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinaga/shinano-plan>
●国土交通省千曲川河川事務所調査課
☎026(227)9434

反映させていただきます。千曲川・犀川が地域にとつてよりよい川になっていくために、皆さんの声をお寄せください。

広島平和記念事業に参加した中学生

「平和の大切さを実感した夏」

戦争の悲惨さと平和の大切さを、戦争を知らない子供たちに学んでもらおうと、「原爆の日」である8月6日、市内の中学生6人が広島県広島市を訪問。原爆死没者慰霊式が行われた平和記念公園や原爆ドームなどを見学し、平和への思いを新たにしました。今回は参加した皆さんの感想文をご紹介します。



「恐怖の8時15分」

第一中学校2年 小林涼子

平和公園はとても人が大勢いて平和式典には出れませんでした。けれど、被災者のお墓に線香をあげたり、広島平和記念資料館を見学しました。原子爆弾の投下時刻8時15分は絶対に忘れてはいけない時刻だと思います。何より1番覚えているのはその原子爆弾の大きさです。教科書等の写真だと小さくしか見られないけど実際見るととても大きくて驚きました。その大きさのものが空から降ってきたと思うと、恐怖で動けなかったと思います。投下した人たちはどんな気持ちだったのでしょうか。どうかこれからはこんな悲しい出来事が起きないようにしてほしいと思います。

「原爆は使うべきではなかった」

第二中学校3年 石川智大

平和記念資料館には原爆で被爆された方々の衣服や持っていた物などが展示されていました。その多くは焼け焦げていたり、破れていたり生々しいものばかりでした。その中で1番印象深く覚えているものは、中味が黒く焦げ炭となった弁当箱です。その説明には自分で耕した畑から初めて取れた作物で作ったお弁当だと書いてありました。それを味わうという小さな楽しみさえも奪ってしまうのが原爆だと思うと、急に残酷なものに感じました。僕は今回の旅で「原爆は使うべきではなかった」という明確な意見を持つ事ができました。実際に自分の目で見て肌で感じたことが大きな経験となり、そんな意見をもたせたのだと思います。

「どちらにも悲しみだけが残る戦争」

第三中学校1年 中村穂乃花

ここが原爆を落とされた街なのか。大きなビルがいっぱい、原爆を落とされた面影は全くありません。原爆ドームを見た後、爆心地やお墓を見学し、平和の子の像で千羽鶴を納めました。平和記念資料館では、原爆がどれほど多くの人々を苦しめたかがよく分かりました。胸がいたむ思いです。正直言って怖くなりました。原爆がこんなに恐ろしいなんて。平和学習に行つて改めて戦争は絶対いけない事だと強く感じました。戦争をすればたとえ勝ったとしても悲しむ事になり、負けた方はもっと悲しみます。多くの人々の命を奪い、苦しみや悲しみに引きこむのが戦争です。戦争のない世界になってほしいと思います。

「平和を祈り原爆の事実を伝えていきたい」

第一中学校1年 宮本みゆう

資料館ではたくさんのパネルや展示品を見た。どれも目をそむけなくなるものばかりだった。1番衝撃的だったのは親指の爪の部分真っ黒に焼けて残っていたものである。改めて原爆の恐ろしさを感じた。戦争は絶対にいけない事、外国では今でも戦争をしている国がある。罪もない子どもや市民が犠牲になっている。悲しい事だ。今の日本は戦争もなく平和である。原爆の犠牲になった方たちのためにも二度と同じことが繰り返されぬよう戦争のない平和を祈りたい。そして私は、63年前に起こった事実を忘れ去られる事のないようにこれからも伝えていきたい。

「ひとり一人が意識向上を」

第二中学校3年 井上慶淳

平和記念資料館は原爆で焼けた自転車やお弁当箱やケロイド状になった皮膚などが当時のまま残され、原爆が投下された時の悲惨さを物語っていました。今日日本が戦争をせずに平和でいるのは、戦争でたくさんの人の犠牲があつて今の平和があるということをおぼえています。二度と戦争というあやまちを繰り返さないために、戦争や原爆についてよく知り、今自分達ができるのかを考えると、そのとき自分もその場にいた気がし、怖くなりました。今も続く核実験の事実、日本が原爆を落とされた事実と悲劇をもっと理解し、他の一人一人でも多く伝えたいとこの時思いました。

「8時15分こんな小さな命が」

第三中学校1年 藤本智大

原爆ドームから少し離れた墓地に名前や年齢・死亡日が書かれたたくさんのお墓がありました。その中に3歳と書かれたお墓を発見しました。こんな小さな子どもが犠牲になったんだと思うと、戦争の恐ろしさを身をもって感じ、思わず手を合わせました。あの時の空気は忘れられません。今回一番印象に残ったのが原爆資料館に展示されていた「8時15分」で止まった時計。その時計を見ていると、そのとき自分もその場にいた気がし、怖くなりました。今も続く核実験の事実、日本が原爆を落とされた事実と悲劇をもっと理解し、他の一人一人でも多く伝えたいとこの時思いました。